

(10) 生徒指導研究会

会 長 上田 壮 (下田小)
副会長 栗本 健 (中村中)
事務局 岡崎 拓人 (具同小)

1. 研究主題 「日常的に使える効果的なSST」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和6年8月2日	夏季研修会 スクールカウンセラーによる講話 「日常的に使える効果的なSST」 講師：西岡 美緒 (県立中村中学校・高等学校)	中村中学校	10名参加

3. 令和6年度 四万十市教育研究会 夏季研修会

(1) 日 時 令和6年8月2日 (金) 8:45～11:05

(2) 会 場 四万十市立中村中学校 教室

(3) 日 程 開会 (8:45)

 スクールカウンセラーによる講話と協議 (8:50～11:00)

 閉会 (11:05)

(4) 研修内容

今年度の夏季研修会では、高知県立中村中学校・高等学校より西岡 美緒カウンセラーを講師に招聘し、上記の内容について講話と協議を行った。

講義の前半ではソーシャルスキルが学校現場でなぜ必要なのかの講義を行っていただき、子ども一人一人が叶えたい生き方を実現する基盤となるものということを教えていただいた。人間は社会のなかで生きていく生き物だからこそ、基本的な関わりや仲間関係・共感的など4分類に分けられるソーシャルスキルを身に付けていくことが大事だと分かった。

続いて、構成的場面でのソーシャルスキルから自己理解や他者理解のワークとして、講師が持ち寄った感情の表現・理解や怒りに関する自己理解の学習に役立つカードゲームを行った。講師から最近の印象として「自分で自分のことを分かっている子が多い」というお話があり、カードゲームをしていく中で自己理解や他者理解を図ることができると感じた。

講義の後半では、アサーショントレーニングと日常的な場面に関するソーシャルスキルの視点から見た観点について講義を行っていただいた。アサーションとは自分も相手も大切に考えることで、自分も相手も気にかけての表現を目指していこうということを教えていただいた。まず、自分が普段どんな伝え方をしているのかを知り、具体的な場面を想定し、それぞれの表現方法について考えていくやり方を学んだ。その際に大切なことは、主語を「私」で伝えると自分の気持ちが明確になり、言葉の表現がやわらかくなるということであった。

4. 今年度の成果と課題

夏季研修会では、講師の先生にご協力いただき、講話や協議を通して各校の先生方と交流して大変有意義な研修を行うことができた。今回の研修内容を各校に持ち帰って共有し、日々の実践の中でソーシャルスキルの視点をもって事に当たらねばならないと感じた。

今後も四万十市教育研究会の夏季研修会を通して、研究主題である「日常的に使える効果的なSST」について各校の先生方との学びを深め、日々の学校現場で実践していきたい。